

2025（令和7）年さけます来遊状況（第4報：11/30現在）

1 カラフトマス来遊状況

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
水産資源研究所 さけます部門 資源増殖部

- カラフトマスは奇数年級と偶数年級で異なる繁殖集団を形成していると考えられており、本年は「奇数年級」にあたる
- 来遊数は25千尾〔前年同期比：71%、2023（令和5）年同期比：29%、平年^{*1}同期比：0.4%〕、1989（平成元）年以降で最も少ない

*1：平年とは、1989（平成元）～2024（令和6）年の奇数年の平均値

11月30日現在、北海道のカラフトマス来遊数は25千尾〔前年同期比：71%、2023（令和5）年同期比：29%、平年同期比：0.4%〕となりました。

カラフトマスは2年で回帰するため、奇数年級と偶数年級で異なる繁殖集団を形成していると考えられます。本年は奇数年級にあたり、その来遊数は2007（平成19）年以降減少しています。11月30日現在の来遊数25千尾は、1989（平成元）年以降で最も少なくなりました（表1および図1）。

表1. カラフトマス来遊数(北海道)

偶数年	11/30現在		奇数年	11/30現在		単位：千尾
	最終	最終		最終	最終	
2012(平成24)	2,213	2,213	2013(平成25)	3,250	3,250	
2014(平成26)	1,580	1,580	2015(平成27)	2,104	2,104	
2016(平成28)	8,899	8,899	2017(平成29)	1,233	1,233	
2018(平成30)	6,831	6,831	2019(令和元)	1,094	1,094	
2020(令和2)	4,731	4,731	2021(令和3)	761	761	
2022(令和4)	262	262	2023(令和5)	88	88	
2024(令和6)	36	36	2025(令和7)	25	—	
			平年	6,041	6,041	

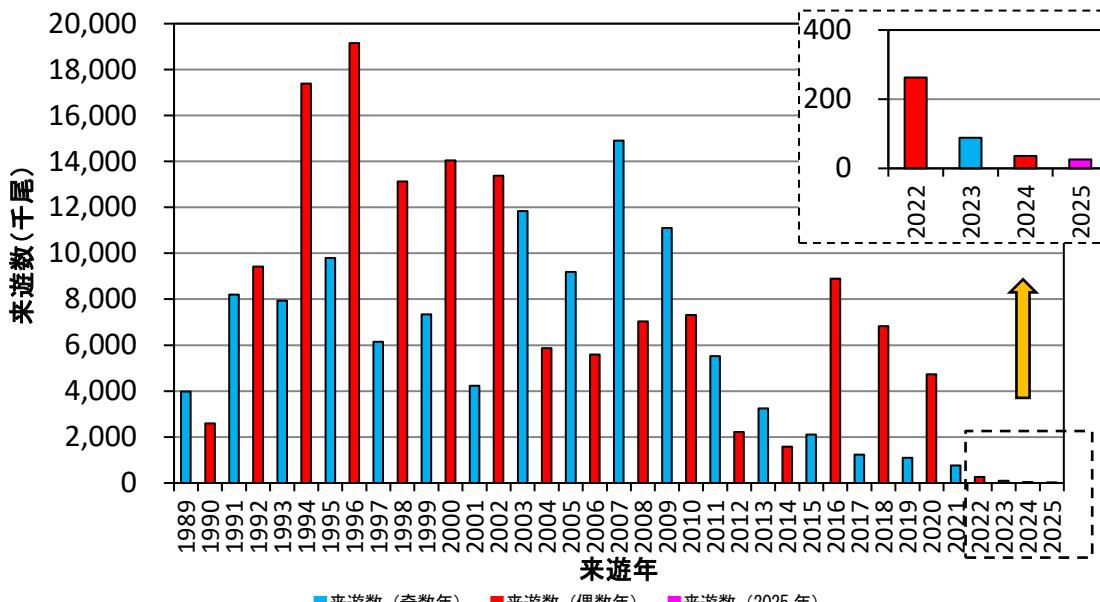


図1. 7月1日～11月30日までのカラフトマス来遊数（累計値）。2025年は速報値。

来遊数を地域別にみると、太平洋側（根室海区～えりも以西海区）では5千尾〔前年同期比：27%、2023（令和5）年同期比：29%、平年同期比：0.6%〕、日本海側（オホーツク海区および日本海区）では21千尾〔前年同期比：112%、2023（令和5）年同期比：29%、平年同期比：0.4%〕となりました。太平洋側は1989（平成元）年以降で最も少ない来遊数、日本海側は1989（平成元）年以降で昨年に次ぎ2番目に少ない来遊数となりました。

カラフトマスの河川捕獲数は、11月30日現在で282尾〔前年同期：9%、2023（令和5）年同期比：1%、平年同期：0.05%〕となりました（表2）。

採卵数については11月30日現在で180千粒と前年同期の10%、2025（令和7）年度の採卵計画数1億5,690万粒の約0.15%となり、河川捕獲数が極端に少なかったことが大きく影響しました。

表2. カラフトマス河川捕獲数(北海道)

単位：千尾

偶数年	11/30現在	最終	奇数年	11/30現在	最終
2012(平成24)	256.6	256.6	2013(平成25)	477.1	477.1
2014(平成26)	264.0	264.0	2015(平成27)	239.1	239.1
2016(平成28)	755.4	755.4	2017(平成29)	183.8	183.8
2018(平成30)	924.7	924.7	2019(令和元)	221.6	221.6
2020(令和2)	731.7	731.7	2021(令和3)	212.8	212.8
2022(令和4)	48.9	48.9	2023(令和5)	30.0	30.0
2024(令和6)	3.5	3.5	2025(令和7)	0.3	－
			平年	626	626